

## ■ホストタウン交流の経緯

当市は、東日本大震災及び原発事故の際に支援をいただいた、東アフリカのジブチ共和国はじめ4つの国と地域へ、感謝の気持ちを表しながら、2020年東京大会へ向けて交流を行うこととしています。

### 【相手国（地域）からの支援内容】

- ジブチ共和国：駐日大使館を通じ大統領及び国民の皆様から多額の義援金
- 台湾：給食運搬車の寄贈や市内中学生を台北での野球交流に招待いただく
- アメリカ合衆国：オレゴン州ポートランド日本人商会等から多額の寄附金
- 大韓民国：男性アーティストサッカーチーム“FC MEN”よりチャリティーの寄附

## ■ジブチ共和国大使による市民講演会

平成30年4月4日に、アホメド・アライタ・アリ駐日大使及び米谷光司ジブチ駐箚大使を当市にお招きし、ジブチ共和国の歴史文化や日本との関係について講演いただき、300人を超える市民がジブチへの理解を深めました。



## ■相馬野馬追への招待交流

平成30年7月28日～30日に、ジブチ共和国及び台湾から中学生等20名を、一千有余年の伝統を誇る相馬野馬追へ招待し、勇壮なサムライの祭りを観覧いただくとともに、甲冑着付け体験や復興施策であるロボット産業の体験、さらには市内の子ども達とのサッカー交流等を行い、当市の歴史文化や復興状況に触れていただきました。



## ■今後の交流計画

当市は、同じ相手国・地域のホストタウンである静岡県牧之原市や愛媛県松山市と自治体間で連携した交流を行うほか、相手国大使館職員等を市にお招きして歴史文化等を紹介していただく

「（仮称）ホストタウンフェスタ」の開催により、市民の機運醸成を図りたい考えです。